



## 2020年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年6月11日

上場会社名 株式会社 山王 上場取引所 東  
 コード番号 3441 URL <http://www.sanno.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三浦 尚  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 浜口 和雄 TEL 045-542-8241  
 四半期報告書提出予定日 2020年6月12日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年7月期第3四半期の連結業績 (2019年8月1日~2020年4月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年7月期第3四半期	5,901	7.9	138	-	86	-	211	-
2019年7月期第3四半期	5,471	△12.8	△243	-	△285	-	△490	-

(注) 包括利益 2020年7月期第3四半期 135百万円 (-%) 2019年7月期第3四半期 △499百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年7月期第3四半期	45.85	-
2019年7月期第3四半期	△106.20	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年7月期第3四半期	10,067	4,414	43.9	956.46
2019年7月期	9,307	4,279	46.0	927.06

(参考) 自己資本 2020年7月期第3四半期 4,414百万円 2019年7月期 4,279百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年7月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2020年7月期	-	0.00	-	-	-
2020年7月期 (予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年7月期の連結業績予想 (2019年8月1日~2020年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800	9.8	135	-	65	-	185	-	40.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年7月期3Q	5,000,000株	2019年7月期	5,000,000株
② 期末自己株式数	2020年7月期3Q	384,050株	2019年7月期	384,050株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年7月期3Q	4,615,950株	2019年7月期3Q	4,615,950株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報及び経営成績の分析	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 継続企業の前提に関する重要事項等	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済におきましては、新型コロナウイルスによる感染症の世界的な拡大に伴い、各国において移動制限等の感染拡大対策が取られていることを受け、企業活動や経済活動への制限を余儀なくされており、急速に経済環境が悪化しております。

わが国経済におきましても、世界経済が急速に減速していることに加え、直近で緊急事態宣言は解除されたものの依然として企業活動の自粛等が続いており、経済活動に制限がかかっていることを受け、急速に景気が悪化しております。

当社グループが属する電子工業界におきましては、自動車・産業機器向け市場については低調な市場環境が続いているものの、次世代通信規格5G向けを中心に通信向け市場では部品需要が拡大しており、当第3四半期連結累計期間においては部品需要は堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う世界経済悪化により、今後の電子部品需要への影響が懸念される状況にあります。

当第3四半期連結累計期間において当社グループは、前期に決定した施策を推進すべく通信向け分野を中心とした受注拡大のため東北工場に新ラインの建設を行い、積極的な受注活動に努めるとともに、生産拠点の統合の実現に向けた活動を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,901百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益は138百万円（前年同期は営業損失243百万円）、経常利益は86百万円（前年同期は経常損失285百万円）、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、第2四半期で投資有価証券売却益を計上したこと等から、211百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失490百万円）となりました。

なお、セグメント毎の経営成績は次のとおりであります。

#### ① 日本

当第3四半期連結累計期間は、次世代通信規格5G向けを中心に部品需要が回復基調にある通信向け分野での受注拡大に向け、東北工場に新ラインを建設し積極的な受注活動に努めるとともに、生産拠点の統合の実現に向けた活動を行ってまいりました。

この結果、売上高は3,994百万円（前年同期比26.9%増）、営業利益は28百万円（前年同期は営業損失506百万円）となりました。

#### ② 中国

当第3四半期連結累計期間は、米中貿易摩擦による受注低迷に加え、中国政府が実施した環境規制強化に伴う操業制限や新型コロナウイルス感染症対策の操業制限もあったことから、売上高は前年同期に比べ大幅に減少いたしました。

この結果、売上高は994百万円（前年同期比19.7%減）、営業損失は17百万円（前年同期は営業利益89百万円）となりました。

#### ③ フィリピン

当第3四半期連結累計期間は、前年同期と比較しスポット的受注が減少しており、また車載部品の需要も低迷する中で主材料を中心とした原価改善活動を行ってまいりました。

この結果、売上高は916百万円（前年同期比15.8%減）、営業利益は59百万円（前年同期比40.7%減）となりました。

### (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が652百万円増加したこと等から、前連結会計年度末と比べ760百万円増加し10,067百万円となりました（前連結会計年度末は9,307百万円）。

負債は、一年内返済長期借入金が322百万円、長期借入金が259百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比べ624百万円増加し、5,652百万円となりました（前連結会計年度末は5,027百万円）。

また、純資産は利益剰余金が211百万円増加したこと等から、前連結会計年度末と比べ135百万円増加し、4,414百万円となりました（前連結会計年度末は4,279百万円）。

### (3) 継続企業の前提に関する重要事象等について

当社グループは、前連結会計年度末に国内において営業赤字を計上しており、当第3四半期連結累計期間において継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

しかしながら、当社グループは、前連結会計年度において、新製品受注に向けて東北工場に新ラインを建設することに加え、一層の生産性向上・合理化による収益力向上を図るため鈴川工場の生産機能を東北工場に統合すると

ともに、プレス・めっき一貫生産の強化のため、プレス生産を東北工場に集約する生産拠点の再編を決定しており、今後上記施策を着実に実行していくことで、当該事象又は状況を解消できると考えております。

また、当社グループは、今後必要な資金について、取引金融機関から支援を引き続き得られる見通しであり資金面で問題ないことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しており、継続企業の前提に関する注記を記載しておりません。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年6月11日開示の「2020年7月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,898,708	2,612,974
受取手形及び売掛金	1,670,900	2,323,207
製品	110,131	138,369
原材料及び貯蔵品	1,358,319	1,565,733
その他	205,761	135,053
貸倒引当金	△250	△250
流動資産合計	6,243,572	6,775,089
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	156,787	154,740
機械装置及び運搬具（純額）	459,159	725,475
土地	1,226,410	1,226,410
リース資産（純額）	150,108	123,077
建設仮勘定	273,683	298,817
その他（純額）	180,487	221,752
有形固定資産合計	2,446,637	2,750,273
無形固定資産	25,673	97,194
投資その他の資産		
投資有価証券	452,007	319,511
その他	139,325	125,236
投資その他の資産合計	591,332	444,747
固定資産合計	3,063,643	3,292,215
資産合計	9,307,216	10,067,304

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	222,283	337,702
短期借入金	1,133,920	1,126,500
1年内返済予定の長期借入金	552,103	874,471
リース債務	45,473	46,662
未払法人税等	9,907	12,143
その他	517,722	528,555
流動負債合計	2,481,410	2,926,035
固定負債		
長期借入金	1,990,387	2,250,067
リース債務	159,301	123,960
退職給付に係る負債	217,419	199,960
繰延税金負債	55,723	29,198
その他	123,694	123,089
固定負債合計	2,546,526	2,726,276
負債合計	5,027,936	5,652,311
純資産の部		
株主資本		
資本金	962,200	962,200
資本剰余金	870,620	870,620
利益剰余金	1,953,097	2,164,750
自己株式	△125,103	△125,103
株主資本合計	3,660,814	3,872,466
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	116,982	47,730
為替換算調整勘定	503,185	496,386
退職給付に係る調整累計額	△1,702	△1,590
その他の包括利益累計額合計	618,465	542,525
純資産合計	4,279,279	4,414,992
負債純資産合計	9,307,216	10,067,304

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 （四半期連結損益計算書）  
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年8月1日 至 2019年4月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年8月1日 至 2020年4月30日）
売上高	5,471,414	5,901,845
売上原価	4,628,452	4,745,199
売上総利益	842,962	1,156,646
販売費及び一般管理費	1,086,353	1,018,470
営業利益又は営業損失（△）	△243,390	138,176
営業外収益		
受取利息	12,912	14,315
その他	20,265	17,010
営業外収益合計	33,177	31,326
営業外費用		
支払利息	34,155	38,321
その他	41,494	44,276
営業外費用合計	75,649	82,598
経常利益又は経常損失（△）	△285,862	86,903
特別利益		
投資有価証券売却益	-	147,494
特別利益合計	-	147,494
特別損失		
固定資産売却損	611	-
固定資産除却損	32,079	-
減損損失	145,444	-
特別損失合計	178,135	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△463,998	234,398
法人税、住民税及び事業税	28,191	20,183
法人税等調整額	△1,954	2,561
法人税等合計	26,236	22,745
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△490,235	211,652
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△490,235	211,652



（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年8月1日 至 2019年4月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年8月1日 至 2020年4月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△490,235	211,652
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45,454	△69,252
為替換算調整勘定	35,989	△6,799
退職給付に係る調整額	△211	111
その他の包括利益合計	△9,676	△75,940
四半期包括利益	△499,911	135,712
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△499,911	135,712

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（追加情報）

新型コロナウイルス感染症（以下、本感染症）の影響に関して、現時点では当社の国内各事業拠点においては、厳重な対策を実施した上で事業活動を継続しており、平常時と同水準の稼働率を維持しております。

しかしながら、本感染症は経済、企業活動に広範な影響を与える事象であり、また、今後の広がり方や収束時期等を予想することは困難なことから当社及び連結子会社は外部の情報源に基づく情報等を踏まえて、今後、2021年7月期の一定期間にわたり当該影響が継続するとの仮定のもと、継続企業の前提に関する評価及び固定資産の評価（減損）等の会計上の見積りを行っております。